



OTC薬を上手に使おう…合う薬・合わない薬⑫ 発毛剤

「合わない薬」を避け「合う薬」を選んで、セルフメディケーションを上手におこなうための

ポイント ① 薬を服用(使用)する人の体質に合っているかどうか

② 薬を服用(使用)する人の症状(病気)に合っているかどうか

男性にとって毛髪のごことは大きな関心事のようで、医薬品、医薬部外品を含めてさまざまな毛髪関連製品が売られています。その中で、「発毛という効能が記されているのは、唯一リアップのみ」とメーカーが強調しているように、発毛剤と言えばリアップでしょうか。

脱毛の原因はいろいろありますが、リアップに認められているのは「壮年性脱毛症」に対する効果のみ。つまり、使用者の脱毛が壮年性脱毛症であるかどうかポイントです。

リアップの製造元大正製薬の説明では、「壮年性脱毛症は、一般的には遺伝性の薄毛または抜け毛のことを言い、ゆっくりと何年もかかって進行し、目立つようになる。男性ホルモンが深く関わっており、早い人では、20代から発症することもある。女性にもみられる」とのこと、脱毛のパターンには特徴があります。

リアップは第一類の一般用医薬品です。薬剤師のいる薬局や薬店で買うことができますが、使用可能かどうか(合うか合わないか)をしっかりチェックしてから販売することになっています。上記のポイントに照らしてみいきましょう。

①体質に合うか・・・リアップの成分ミノキシジルおよび添加物に対してアレルギー症状を起こす人は使えません。また、他の医薬品や化粧品にアレルギー症状を起こしたことがある人は使用しない方が良いでしょう。

②症状(病気)に合っているか

☆壮年性脱毛症以外の脱毛症には使えない・・・特徴的な脱毛パターンではない。

同様なパターンの人が家族、兄弟姉妹にいない場合には合わない薬です。

☆脱毛症のほかに、高血圧、低血圧、心臓又は腎臓の障害、むくみ、甲状腺機能障害(甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症)などがある人、高齢者(65歳以上)には合わない薬です。

壮年性脱毛症が心配になって初めて販売店に行ったとき、必ず上記のチェックをしてください。お店にはチェックシートが置いてあると思います。しかし店頭で聞いてみると初回にチェックなしに買っている人が意外に多いのです。脱毛症に効果がないばかりか、他の病気の症状を悪化させる可能性があります。

リアップは継続使用によって効果が維持できる薬です。初回チェックで問題がなかったとしても長く使っている間に中高年となり、高血圧症、心臓病、腎臓病などにかかることもあるかもしれません。このような場合には、医師、薬剤師に相談されることをおすすめします。

